

令和8年2月26日開催 和泉市教育委員会意見交換会並びに事前報告会要旨

出席者 大槻教育長、深堀職務代理者、西家委員、中西委員、小谷委員、木村委員

教育委員会事務局 辻教育次長、東部長、上田指導監、鍛冶次長、永井室長、森下次長、前田室長、奥課長、岩井課長、隅埜課長、橋本課長、富岡課長

	議題	要旨
案件1	「大阪府公立学校長（任期付）」令和9年度任用に係る意向調査について	<p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府教育委員会が、府内市町村（大阪市・堺市・豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町を除く）の公立小中義務教育学校において、魅力ある学校づくりをすすめるため、組織をまとめるマネジメント力と教育に対する熱意を持ち、柔軟な発想や企画力をいかした学校運営や学校の課題を解決できる優れた人材を幅広く募集し、選考するもの ・本市教育委員会においては、現教頭の中から校長任用を見据えた人材育成を継続して行うことで対応できると考え、本制度を活用しない方向で考えている
案件2	補正予算（青少年の家改修工事費等）について	<p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の家改修工事費等にかかる国の補助金について、国の令和7年度補正予算で措置される可能性があり、その場合、令和7年度補正予算に計上することで、市債の充当率が100%になるため、単年度での一般財源負担が軽減されるほか、後年度における交付税措置も有利な条件となることから、市も令和7年度補正予算で予算措置し、全額を令和8年度に繰越して事業を実施しようとするもの（国補助金が令和8年度予算で措置された場合、補正は行わない予定） ・令和7年度補正予算で措置される場合、3月上旬に国からの補助金の内示を予定しており、教育委員会の事務委任等に関する規則に基づく教育長の臨時代理による専決、市議会での議決後、教育委員会第3回定例会で承認いただく予定
案件3	補正予算（史跡池上曾根遺跡発掘調査委託料）について	<p>○背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池上曾根遺跡発掘調査を進める中で、弥生時代前期の土器が大量に出土 ・池上曾根遺跡における前期土器の出土は珍しく、池上曾根遺跡の成立、ひいては泉州における弥生文化のはじまりが書き換わる可能性もあるため、文化庁から慎重かつ丁寧な発掘調査を求められ、想定以上の時間を要している

<p>案件4</p>	<p>和泉市社会教育委員会と和泉市生涯学習推進委員会の統廃合検討について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府文化財保護課より、調査期間を延長するよう指導があった →年度内に事業を完了させることが困難となった ○対応 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の国の補助金は、令和8年度に繰り越しができないため、令和7年度末までに実施した事業について、完了払いを実施のうえ令和7年度の国補助を充当し、残りの事業分は、令和8年度に繰り越し、令和8年度の国の補助金を充てる ・3月上旬には繰越額を確定させ、教育委員会の事務委任等に関する規則に基づく教育長の臨時代理による専決を速やかに行い、市議会での議決後、教育委員会第3回定例会で承認いただく予定 ○概要 <ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習推進委員会」は、平成14年4月に策定し「和泉市生涯学習推進プラン」に基づき、一元的・一体的な生涯学習施策の推進を図るため、実務的な生涯学習施策の推進に向けた司令塔の役割を担うものとして、平成24年に設置された ・後継計画である「第2次和泉市生涯学習推進プラン」は、生涯学習推進委員会を中心に計画策定を行い、計画の推進を図ってきたが、令和4年度に計画期間の満了を迎え、同委員会は一定の役割を終えたことから、廃止しようとするもの ・現計画である「生涯学習・スポーツ推進計画」の推進については、社会教育・青少年教育等について審議・助言等を行う「社会教育委員会議」がその役割を担うものとする ●委員の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・委員の選任にあたっては、経歴に加え、性犯罪歴の有無の確認も必要であると考え
<p>案件5</p>	<p>(仮称)和泉市北部総合スポーツ公園基本構想の策定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○経過(令和7年以降) <ul style="list-style-type: none"> 1月：意見交換会並びに事前報告会にて、進捗状況の報告 2月：第2回定例会にて、進捗状況の報告 8月：第8回定例会にて、基本構想(素案)の報告 10月：パブリックコメントの実施 →今後、令和8年度から令和9年度にかけ、基本計画の策定、PFI導入可能性調査を実施予定 ○前回(素案)からの変更点 <ul style="list-style-type: none"> ①P.2-2

<p>案件6</p>	<p>学力向上について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「調整中」としていた箇所を、「第6次和泉市総合計画（令和8年3月策定予定）」の内容に修正 ②P.3-11 ・パース図の追加 <p>○パブリックコメントでの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用環境改善（全天候型屋根付き施設）の要望 ・陸上競技や予約なしで利用できるスポーツ設備（バスケットゴール等）の設置希望 ・多目的グラウンドの人工芝・天然芝敷設要望 ・硬式野球場、高校野球以上の利用やプロ野球観戦可能な球場の設置希望 ・遊歩道の幅広設計と安全性向上について提案 ・公園設置場所や交通アクセスへの懸念、地域治安悪化対策の意見 ・暑熱対策や防災・減災機能を取り入れた整備への期待 ・総合体育館の整備やトイレ・ベンチのリサイクル要望 <p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「AIドリル」について、1月の意見交換会の内容を踏まえ、今後のあり方について検討をする <p>●委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとに使用するツールを選択してもらうことには賛成だが、選んだものの内容によって補助額に差をつけるのではなく、一律に同額の補助をすべき ・学校や子どもの実態に応じて、より柔軟に選択できる仕組みの方が、デジタル活用の本来の姿である「個々の学び」に適した形となり良いのではないか ・子どもの学力の背景には、家庭の経済状況も大きく関わっているため、保護者負担を求める案については、慎重に考えるべき
------------	-----------------	--